

安楽川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、安楽川水系においても、流域内のあるる関係者が協働して流域全体で対応する必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。



■被害対象を減少させるための対策

- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）（鹿児島県）
※今後、関係機関と連携し対策検討

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【防災情報、避難体制の検討・連携強化】

- ・水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供（鹿児島県、国土交通省、気象庁）
- ・マイ・タイムラインの作成・支援（鹿児島県）

【土地のリスク情報の充実】

- ・水害リスクマップの運用（鹿児島県）
 - ・未作成区間の浸水想定区域図作成（鹿児島県、宮崎県）
 - ・住民への防災情報のプッシュ型通知（宮崎県）
 - ・防災啓発（宮崎県）
 - ・防災力の向上（防災士養成・出前講座）（宮崎県）
 - ・防災情報の発信・提供（志布志市）
 - ・総合防災マップ作成・配布・周知（志布志市）
 - ・気象庁HPの改善（気象庁）
 - ・出前講座・防災学習の実施（気象庁）
 - ・個別避難計画の作成（関係市）
- ※今後、関係機関と連携し対策検討



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【流出抑制対策】

- ・森林整備による流出抑制対策（鹿児島県、宮崎県）
- ・治山施設整備による土砂流出抑制対策（鹿児島県、宮崎県）

【洪水氾濫対策】

- ・河道掘削、樹木伐採（鹿児島県、都城市）

【土砂災害対策】

- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ハード対策）（鹿児島県）
※今後、関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

安楽川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○安楽川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 対策内容・事業主体・工程は、以下のとおり

【被害対策を減少させるための対策】 対策内容・事業主体・工程は、以下のとおり

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 対策内容・事業主体・工程は、以下のとおり

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(河道掘削等)	鹿児島県、都城市		河道掘削、樹木伐採 等	
	土砂災害対策(ハード対策)	鹿児島県		砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業 等	
	森林の整備・保全	鹿児島県、宮崎県、市町、森林組合 等		森林整備による流出抑制対策 等	
	治山施設の整備	鹿児島県		治山施設整備による土砂流出抑制対策 等	
		宮崎県		治山対策 等	
被害対策を減少させるための対策	土砂災害対策(ソフト対策)	鹿児島県		土砂災害警戒区域の指定 等	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県、国土交通省、気象庁、志布志市		水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等	
		気象庁		気象庁HPの改善 等	
	土地のリスク情報の充実	鹿児島県		洪水浸水想定区域図の作成・公表 等	
		宮崎県		洪水浸水想定区域図の作成・データ提供 等	
		志布志市		総合防災マップの作成 等	
	水防災意識の醸成	宮崎県		防災啓発、防災力の強化	
	防災学習の推進	気象庁		出前講座、防災学習 等	

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進